

- 問1 奈良時代の文化を象徴する『万葉集』に関連して、この歌集に歌が収録されている、九州の北海岸などの防備にあたった兵士のことを何と呼びますか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 健児 2. 防人 3. 地頭 4. 衛士
- 問2 律令制のもとで、正丁（成人男子）に課された税のうち、都へ赴いて年間10日間働く「歳役」という労役の代わりに、布を納めることとされたものを何といいますか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 租 2. 雑徭 3. 調 4. 庸
- 問3 奈良時代の聖武天皇は、飢饉や疫病の流行、政治の混乱といった社会の不安を取り除くため、仏教を深く信仰して国を安定させようと考えました。このような「仏教の力によって国家を守ろうとする思想」を何といいますか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 本地垂迹 2. 神仏習合 3. 鎮護国家 4. 王土王民
- 問4 聖武天皇が東大寺に大仏を造立した歴史的な背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 阿弥陀仏にすがって極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰を、貴族や民衆の間に広く普及させようとした。  
2. 大陸から招いた高僧に、僧侶が守るべき正しい戒律を授けるための正式な儀式の場を提供しようとした。  
3. 伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を、仏教の力によって取り除き、国家を守ろうとした。  
4. 禅宗の影響を受けた当時の最新様式を取り入れ、武家社会の力強さを象徴する三層の建築物を造営しようとした。
- 問5 8世紀の奈良時代、聖武天皇のころを中心として栄えた、遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受けた文化を何と呼びますか。東大寺の正倉院に収められた宝物にペルシアやインドの影響が見られるような、国際色豊かな特色を持つものを選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 弘仁・貞観文化 2. 天平文化 3. 国風文化 4. 飛鳥文化
- 問6 奈良時代の中頃に出された「墾田永年私財法」は、それまでの「公地公民」の原則を大きく変えるものでした。この法律が制定される直接的な背景となった、当時の社会状況の説明として正しいものを選んでください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 聖徳太子が十七条の憲法を制定したことにより、貴族が自分の土地を持つ権利が法的に保障されたため。  
2. 人口が増加して政府が農民に与える口分田が不足し、農民の労働意欲が低下して田畑が荒廃したため。  
3. 三世一身の法によって土地の私有が永久に認められた結果、有力な農民がさらに広い土地を求めたため。  
4. 唐から伝えられた新しい農業技術を普及させるために、農民に土地の所有権を与えて管理を任せる必要があったため
- 問7 奈良時代、中央政府は地方の支配を強化するため、諸国に対してその地域の情報をまとめた報告書を提出させました。各地域の産物、土地の肥沃（ひよく）さ、地名の由来、そして古くから伝わる伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 風土記 2. 万葉集 3. 日本書紀 4. 古事記
- 問8 日本の歴史における出来事を古い順に並べたとき、小野妹子が遣隋使として派遣された時期よりも後であり、かつ白河上皇が院政を開始した時期よりも前に起こった出来事として適切なものはどれか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 源頼朝が鎌倉に幕府を開き、征夷大将軍となった  
2. 聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を定めた  
3. 桓武天皇によって平安京に都が遷された  
4. 藤原京から平城京への遷都が行われた
- 問9 古代の地方行政区分である五畿七道において、北陸道に属し、日本海に位置する島全体を一つの範囲とした令制国の名称として適切なものを選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 能登国 2. 対馬国 3. 佐渡国 4. 隠岐国
- 問10 延べ二百万人以上の人々が協力したとされる奈良時代の東大寺の大仏造営において、当初は活動を制限されていた僧侶の行基が、最終的に朝廷から協力を依頼された背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 唐から命がけで渡来し、正しい戒律を日本の僧侶に伝えることで、仏教界の規律を正した実績があったから。  
2. 真言宗を説き、加持祈祷によって天皇の病気を治したことで、朝廷内での信頼が急速に高まったから。  
3. 比叡山に延暦寺を建てて、平安京の北東にある鬼門を守護し、国家の安寧を祈念する役割を担っていたから。  
4. 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。
- 問11 奈良時代において、疫病や社会不安を仏教の力によって鎮め、国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、平城京に東大寺を、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた天皇は誰ですか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 天智天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 天武天皇
- 問12 8世紀の日本において、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化は、中国（唐）の文化だけでなく、西アジアや中央アジアの影響も受けた国際色豊かな特色を持っています。このように多様な地域の文化が日本に伝わった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を制定し、高句麗や百済といった朝鮮半島の国々との交流を最優先したため  
2. 遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを経由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため  
3. 平清盛が日宋貿易を推進したことで、宋から大量の銅銭や陶磁器が輸入され、貨幣経済が全国的に浸透したため  
4. 菅原道真の建議により遣唐使が廃止されたことで、日本独自の自然観や感情を反映した貴族文化が急速に発達したため
- 問13 律令国家が国民を管理するために作成した戸籍に基づき、6歳以上の人々に割り当てられた田地を何と呼びますか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 公田 2. 墾田 3. 口分田 4. 私有地
- 問14 奈良時代の税制において、現在の島根県にあたる地域から、出雲の絹布や絹糸、石見の紙、隠岐のアワビやイカといった「その土地の産物」が都に納められていたことを示す記録があります。このような、各地の特産品を中央政府に納める税を何といいますか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 防人 2. 庸 3. 調 4. 租
- 問15 律令制度のもとで行われた兵役のうち、唐や新羅などの大陸勢力からの侵攻に備え、九州北部の沿岸警備にあたった兵士を何と呼ぶか。主に東国の農民が徴兵されたことで知られている。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 守護 2. 防人 3. 国司 4. 地頭

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>防人                                                          | 万葉集には、遠く離れた九州の警備に送られた「防人」たちの歌が収められています。これらは「防人歌」と呼ばれ、故郷に残した家族を思う切ない気持ちや、厳しい任務の様子が詠まれており、当時の庶民の生の声を知ることができる極めて珍しい資料となっています。他の選択肢にある「健児（こんでい）」は平安時代の兵制、「地頭」は鎌倉時代の役職です。                                                                    |
| 問2  | 答え 4<br>庸                                                           | 律令時代の中心的な税制（租・庸・調）の一つです。もともとは都での肉体労働が義務付けられていましたが、その労働を免除される代わりに、一定の長さの布を納める仕組みが整えられました。これに対し、収穫した稲を納めるものは「租」、各地の特産物を納めるものは「調」と呼ばれます。                                                                                                   |
| 問3  | 答え 3<br>鎮護国家                                                        | 8世紀の日本では、天然痘の流行や凶作、貴族間の政争といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏の慈悲や加護を政治に取り入れることで、こうした災いから国を救い、安泰に導こうと考えました。この思想を背景に、全国への国分寺・国分尼寺の建立や、東大寺の大仏造立が進められました。                                                                                            |
| 問4  | 答え 3<br>伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を、仏教の力によって取り除き、国家を守ろうとした。               | 聖武天皇の時代には、天然痘の流行や凶作、政治的な対立による反乱が相次ぎました。これらに対し、天皇は仏教を厚く信じることで国を守る「鎮護国家」の思想を掲げ、平和と国家の安定を願って大仏造立の詔を出しました。                                                                                                                                  |
| 問5  | 答え 2<br>天平文化                                                        | 奈良時代の聖武天皇の時期、遣唐使の派遣によって唐の進んだ文化や技術、さらにはシルクロードを經由して西アジアやインドの文物が日本に流入しました。正倉院に遺されている「螺鈿紫檀五絃琵琶」などの宝物は、当時の日本がいかに国際的なネットワークの中にあったかを示しています。                                                                                                    |
| 問6  | 答え 2<br>人口が増加して政府が農民に与える口分田が不足し、農民の労働意欲が低下して田畑が荒廃したため。              | 律令国家の基本である「公地公民」のもと、農民には口分田が与えられていましたが、人口増加に伴い土地が不足しました。政府は当初、三代に限り私有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地を返す必要があるため農民の意欲が上がらず、開墾が進みませんでした。そこで、期限をなくし永久に私有を認める「墾田永年私財法」を制定することで、開墾を促進しようとしたのです。                                                  |
| 問7  | 答え 1<br>風土記                                                         | 奈良時代初期の713年、元明天皇の命によって諸国に編纂（へんさん）が命じられました。地方の状況を詳しく把握し、税収や統治に役立てる目的がありました。現在は「出雲国風土記」がほぼ完全な形で残っているほか、数力国の写本が伝わっています。                                                                                                                    |
| 問8  | 答え 4<br>藤原京から平城京への遷都が行われた                                           | 小野妹子の派遣は七世紀初頭の飛鳥時代、白河上皇による院政の開始は十一世紀末の平安時代後期の出来事です。七百年に藤原京から平城京へ遷都が行われたのはその中間の奈良時代にあたります。平安京への遷都は七百九十四年であり、時期としては含まれますが、設問の「平城京への遷都」に関する歴史的文脈として最も適切な選択肢を判断する必要があります。鎌倉幕府の成立や聖徳太子の政治は、この期間の外側の出来事です。                                    |
| 問9  | 答え 3<br>佐渡国                                                         | 律令制に基づき設置された令制国の一つで、現在の新潟県にある佐渡島全域を範囲としていました。五畿七道の区分では、越後国などと同じく日本海側に位置する「北陸道」に分類されます。選択肢にある能登国は現在の石川県の一部、隠岐国は山陰道に属する現在の島根県の島々、対馬国は海海道に属する現在の長崎県の島を指します。                                                                                |
| 問10 | 答え 4<br>土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。     | 聖武天皇が発願した東大寺の大仏造立は、国家を挙げた巨大プロジェクトであり、莫大な費用と人手が必要でした。行基は各地で社会事業を行い、民衆の間で圧倒的なカリスマ性を持っていたため、朝廷は彼の動員力を利用することで大仏造立を成功に導こうと考えました。選択肢にある鑑真は戒律の伝達、空海は真言宗、最澄（比叡山）は天台宗に関する内容であり、行基の事績とは異なります。                                                     |
| 問11 | 答え 2<br>聖武天皇                                                        | 奈良時代の中頃、社会の混乱を収めるために仏教を深く信仰した聖武天皇が行った政策です。東大寺には国の平和を象徴する大仏が造立され、地方ごとに建立された国分寺・国分尼寺とともに、仏教による国家の守護を目指しました。天武天皇は律令国家の基礎を築いた人物、桓武天皇は平安京へ遷都した人物であり、時代や政策が異なります。                                                                             |
| 問12 | 答え 2<br>遣唐使が派遣されたことで、唐の優れた制度や文化とともに、シルクロードを經由した西方の産物や知識が日本にもたらされたため | 8世紀の唐は、西アジアや中央アジアとも活発に交流する国際的な大帝国でした。日本は遣唐使を派遣して唐の進んだ文化を直接取り入れましたが、その中にはシルクロードを通じて唐に伝わっていた西方の文化も含まれていました。その結果、この時代の文化は日本の歴史上でも類を見ないほど国際色豊かなものとなりました。選択肢にある「国風文化」は遣唐使廃止後の10世紀以降、「日宋貿易」は平安末期の平氏政権期、「聖徳太子の外交」は7世紀の飛鳥時代の出来事であり、時期や特色が異なります。 |
| 問13 | 答え 3<br>口分田                                                         | 律令国家は、戸籍によって国民の数や年齢を把握し、それに基づいて生活の基盤となる土地を割り当てました。この土地を口分田と呼び、人々に稲を納める税（租）の負担を求めました。                                                                                                                                                    |
| 問14 | 答え 3<br>調                                                           | 奈良時代の律令制度のもとでは、民衆に対して様々な税が課せられました。このうち、布や紙、各地の海産物といった「地方の特産品」を都まで運んで納める制度を「調」と呼びます。現在の島根県（出雲・石見・隠岐）から納められた品々が多様であるように、全国各地の地理的特性に応じた物品が徴収され、都の貴族の給与や政府の運営費用に充てられました。                                                                    |
| 問15 | 答え 2<br>防人                                                          | 7世紀後半の白村江の戦いでの敗北を受け、大和政権は唐や新羅の侵攻に備えて大宰府や水城を整備し、九州北部の警備を強化しました。この任務についたのが防人で、主に東国（現在の関東地方など）から農民が徴兵されました。家族と離れて遠い九州へ赴く負担は非常に重く、彼らの心情を詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として残されています。                                                                         |